

大震災・復興ニュース(第67報)

平成24年7月26日

仙台地方振興事務所水産漁港部

1 水産業復旧・復興に向けた対応状況(国及び県全体の動き)

宮城県内の水産物の放射性物質測定結果について

- 1 測定年月日 平成24年7月18日～7月24日
- 2 測定分析機関 宮城県, 東北緑化環境保全(株), (株)総合水研究所, (公財)海洋生物環境研究所, (財)日本分析センター, いであ(株), (独)水産総合研究センター-中央水産研究所, (一財)九州環境管理協会, (財)日本食品分析センター, (財)日本冷凍食品検査協会

3 測定及び対応結果

東松島市浜市沖及び亘理沖のクロダイで基準値を超える放射性セシウムが検出されました。これについては6月28日付けで国から出荷制限指示が出されています。

また, 岩沼二の倉沖のスズキで基準値を超える放射性セシウムが検出されました。これについては4月12日付けで国から出荷制限指示が出されています。

水産物(漁獲日 平成24年6月19日～7月19日)

(単位:ベクレル/kg)

種別	漁獲場所	放射性セシウム	種別	漁獲場所	放射性セシウム
ババガレイ	名取関上沖	4	ヒガンフグ	浜市沖	1.6
マトウダイ	名取関上沖	1.2	マボヤ	山元沖	不検出
マガレイ	名取関上沖	1.1	シイトマハイ	山元沖	不検出
イシガレイ	名取関上沖	1.5	ヒラメ	山元沖	3.2
ブリ	三陸南部沖	5.6	アイナメ	山元沖	3.3
ヤナギダコ	名取関上沖	不検出	マダイ	山元沖	1.5
ホウボウ	名取関上沖	2.3	マダラ	仙台湾	不検出
キアンコウ	名取関上沖	不検出	マダラ	宮城県沖	不検出
ヒラメ	名取関上沖	5.4	ミスダコ	宮城県沖	不検出
マダラ	仙台湾	10.0	シイトマハイ	宮城県沖	不検出
スズキ	東松島市浜市沖	4.3	クロダイ	亘理沖	<u>14.0</u>
ヒラメ	東松島市浜市沖	3.0	スズキ	岩沼二の倉沖	<u>11.0</u>
クロダイ	東松島市浜市沖	<u>14.0</u>	チダイ	金華山沖	8.5
トラフグ	東松島市浜市沖	6.1	ゴマサバ	金華山沖	0.97
ヒラメ	山元沖	3.8	マアジ	金華山沖	2.7
ピンナガ	太平洋沖合	不検出	材カツヒ	金華山沖	不検出
カツオ	太平洋沖合	不検出	ブリ	金華山沖	5.8
アユ	一迫川(栗原市)	4.8	ヒラメ	金華山沖	1.5
アユ	三迫川(栗原市)	6.8	マカジキ	三陸南部沖	2.7
アユ	鳴瀬川(加美町)	1.7	アオザメ	三陸南部沖	1.9
アユ	内川(丸森町)	5.9	シュモクザメ	宮城県沖	7.6
アユ	五福谷川(丸森町)	6.1	アユ	水尻川(南三陸町)	不検出
ウナギ	名取川(仙台市)	2.7	アユ	八幡川(南三陸町)	7.8
ブリ	浜市沖	6.8			

放射性物質値は漁獲日における値を示す。

塩釜市魚市場水揚状況

(トン,千円)

月	平成24年		平成23年		対比	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額
1	1,225	552,653	1,405	653,198	87%	85%
2	760	428,901	915	439,655	83%	98%
3	1,281	728,329	246	153,638	521%	474%
4	2,219	1,183,072	221	168,510	1004%	702%
5	3,492	1,817,708	2,172	842,007	161%	216%
6	2,498	1,207,308	2,158	753,917	116%	160%
累計	11,475	5,917,971	7,117	3,010,925	161%	197%

2 管内の復興に向けた動き

<水産漁港部からのお知らせ>

塩釜市魚市場の水揚状況

塩釜市魚市場の6月の水揚は、数量で2,498トン、金額で1,207,308千円とな

り、前年同月比数量で340トンの増、金額で453,391千円の増となりました。

主な漁業種類はまぐろ延縄、その他刺網であり、まぐろ延縄船は8隻減、数量で85トンの減となり、昨年水揚げの多かった沖合底曳船は95隻減の6隻と激減しましたが、前月に引き続き陸送遠洋のクサカリツボダイが好調だったため、合計数量・金額とも増となっています。

漁場の啓開(けいかい)作業始まる

7月24日(火)から管内の啓開作業が始まりました。

まずは7月から8月にかけて矢本から仙台にかけての外洋漁場において、起重機船によりあらかじめ浮玉等を付けたガレキの撤去作業が行う予定です。



啓開作業の様子

<トピックス>

「地域産業振興事業」試食会

7月23日(月)、「鯧のしらはた」において塩釜の食材を用いた創作料理試食会が行われました。

これは来年4月開催の「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」に向けた観光客向けの料理メニュー提案の一環です。

鯧を用いての焼浸しやすり身を用いた飛龍頭など、「鯧のしらはた」が考案した料理が紹介され、出席者により積極的な意見交換が行われました。

アクセサリー事業講習会

7月24日(火)、県漁協塩釜総合支所において、南部地区漁協女性部連絡協議会の主催によるアクセサリー事業講習会が開催されました。

特定非営利活動法人「JEN」から道具と材料の支援を受け、東松島市にある「アトリエPOPPO」本田氏の指導でアワビ稚貝の殻を用いたストラップ作成に取り組みました。

女性部員の方々は、細かい作業に苦戦しながらもがんばって製品を仕上げておりました。

今後は各々技術を磨き、県漁協のイベント等で販売する予定です。



創作料理の一つ



講習会の様子